

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2019/9/5	2019/9/5	
	作業主管G	総務グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	132		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
		①	②	③					β+γ 線量率	
	1	乾電池	B	10	D	A	1 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2	ビン	B	10	D	A	1 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	3	缶	B	01	D	A	2 m ³	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	4						m ³			
	5						m ³			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。持ち込み分。9月中に処理希望。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0120
				2019/9/6
調整後保管日時		2019年9月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	乾電池②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 9:50	0.3 m ³			1
	2	1	ビン②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 9:50	0.3 m ³			1
	3	1	缶①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 9:50	1.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
		E	不燃物	06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
01	ゴム類			02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		

② 状 態 D:乾燥, W:湿気有 ③ 履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事									
	発生場所	1F構外 坂下ダム導水管エリア					2019/9/10	2019/9/10	2019/9/10		
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/10	測定者		測定器名	SC	管理番号	F1-SC-067			
No.	保管物名		※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
			①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	0.5 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	W	B	2 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
	4	木材	A	03	W	B	1 m ²	1 μSv/h	1 μSv/h	無	
5						m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0159
				2019/9/10
調整後保管日時		2019年9月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 9:20	0.3 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 9:20	1.8 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 9:20	1.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事								
	発生場所	1F構外 坂下ダム導水管エリア					2019/9/10	2019/9/10	2019/9/10	
	作業主管G	土木保全・総括グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
線量測定年月日	2019/9/10	測定者			測定器名	SC		管理番号	F1-SC-067	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	B	2 m ³	1 μSv/h	1 μSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0160
				2019/9/10
調整後保管日時		2019年9月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/26 11:15	1.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0014

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	構内排水路(B系)拡張工事											
	発生場所	1F構外 坂下ダム導水管エリア											
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2019/9/10		測定者			測定器名	SC					
							管理番号	F1-SC-067					
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③									
	1	ゴム類	C	01	W	B	0.3	m ³	1	μSv/h	1	μSv/h	無
	2	塩化ビニール類	B	05	W	B	0.3	m ³	1	μSv/h	1	μSv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	W	B	0.4	m ³	1	μSv/h	1	μSv/h	無
	4							m ³					
5							m ³						
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0161
				2019/9/10
調整後保管日時		2019年9月26日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 11:00	0.05 m ³			1
	2	1	塩化ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 11:00	0.05 m ³			2
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/26 11:00	0.2 m ³			1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1～4号機 サブドレン他浄化設備pH緩衝塔設置及び同関連除却								
	発生場所	サブドレン建屋								
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/10	測定者		測定器名	電離箱	管理番号	FI-ICWBL-038		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	制御盤類	B	03	D	A	1 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3	ケーブル類	B	08	D	A	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0172
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/26 10:00	4 m ³			1
	2	1	制御盤類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/26 10:00	0.5 m ³			1
	3	1	ケーブル類①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/26 10:00	0.1 m ³			1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0002

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	残Co処理エリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/9/11	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04			
メ モ	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
10tダンプ(5m3) × 1台 = 5m3 コンクリートガラ搬出いたします。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0177
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月26日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/26 8:15	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不 燃 物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		C	難 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		D	伐 採 木	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0025

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Cエリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G4南エリア				2019/9/12	2019/9/12	2019/9/12			
	作業主管G	貯留設備グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/8/1	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	89			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	2	紙・ウエス類	A	01	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	W	B	1 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	4	保温材	B	06	W	B	2 m ²	0.009 mSv/h	0.009 mSv/h	無	
	5						m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0178
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	リ-ICW-286
2		ICWBL	F1-ICWBL-6
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:00	0.9 m ²			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:00	0.3 m ²			1
	4	1	保温材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 9:25	1.5 m ²			2
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	Eエリア(P-26)							2019/9/12	2019/9/12
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	連結管・バルブ・フランジ			B 12 D B	5 m ²	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	80 mSv/h
	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	09	—	0179
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 μSv/h	10 μSv/h	400 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 9:35	2.5 m ²		FU-00106	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ	上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β+γ線量率=40 μSv/h											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事													
	発生場所	Eエリア(P-26)						2019/9/12	2019/9/12	2019/9/12					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL							
	元請会社					担当者		TEL							
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52							
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率						
		①	②	③											
	1	ボルト・クランプ・番線	B	01	D	B	1	m ²	0.002	mSv/h	0.1	mSv/h	β 有	25	mSv/h
	2	水中ポンプ	B	03	D	B	0.5	m ²	0.002	mSv/h	0.1	mSv/h	β 有	10	mSv/h
	3							m ²							
	4							m ²							
5							m ²								
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。															

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0180
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ボルト・クランプ・番線	5 μSv/h	20 μSv/h	1 mSv/h	エリアW1	2019/9/24 9:40	2 m ²		FU-00105	1
	2	1	水中ポンプ	5 μSv/h	15 μSv/h	800 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 9:40	0.5 m ²		FU-00105	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β + γ 線量率=10 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eエリア(P-26)									
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β ・ α 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	連結管・バルブ・フランジ	B	12	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	80 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0181
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 μ Sv/h	30 μ Sv/h	3 mSv/h	エリアW1	2019/9/25 8:35	4 m ²		FU-00007	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=40 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=40 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
②		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eエリア(P-26)					2019/9/12	2019/9/12	2019/9/12		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-52		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
		①	②	③							
	1	連結管・バルブ・フランジ	B	12	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	80 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0182
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 μSv/h	30 μSv/h	3 mSv/h	エリアW1	2019/9/25 8:40	2 m ²		FU-00080	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=10 μSv/h, β+γ線量率=10 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
②		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作業主管理	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eエリア(P-26)									
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
線量測定	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	連結管・バルブ・フランジ	B	12	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	80 mSv/h
	2						m ²				
入 欄	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0183
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 μ Sv/h	40 μ Sv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/9/26 8:40	3.5 m ²		FU-00080	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=40 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=40 μ Sv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eエリア(P-26)									
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-52			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β+γ 線量率			
	1	連結管・バルブ・フランジ	B	12	D	B	4 m ²	0.002 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	80 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
	5						m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0184
				2019/9/12
調整後保管日時		2019年9月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	連結管・バルブ・フランジ	5 μSv/h	40 μSv/h	10 mSv/h	エリアW1	2019/9/26 8:50	3 m ²		FU-00079	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ 上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=50 μSv/h, β+γ 線量率=50 μSv/h

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	Eタンクエリア									
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ(2019FU00235)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	2	機器類(2019FU00373)	B	03	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	30 mSv/h
	3	連結弁(2019FU00375)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	4	カナホース(2019FU00104)	B	10	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	β 有	30 mSv/h
	5						m ³				
メ モ	No. 1,2,3,4は借用6m3コンテナで廃棄、本管理表コンテナ4台分の申請。 外面 No1 0.03mSv No2 0.03mSv No3 0.03mSv No4 0.02mSv										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0189
				2019/9/13
調整後保管日時		2019年9月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00235)	5 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 8:30	6 m ³		FU-00235	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00373)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 8:30	6 m ³		FU-00373	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00375)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 8:30	6 m ³		FU-00375	1
	4	1	6m3コンテナ(FU-00104)	5 μSv/h	20 μSv/h	20 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 8:30	6 m ³		FU-00104	1
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0043

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F HTLPMB,サイトバンカ地下スラッジ調査									
	発生場所	4号機タービン建屋他					2019/9/13	2019/9/13	2019/9/13		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-21	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	金属ガラ(2019FU-00102)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	2	金属ガラ(2019FU-00103)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	3	金属ガラ(2019FU-00087)	B	01	D	A	6 m ³	0.01 mSv/h	0.03 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	No. 1,2,3は借用6m3コンテナにて廃棄、本管理表でコンテナ3台分の申請とする。 外面 No1-0.02mSv/h No2-0.03mSv/h No3-0.02mSv/h										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0190
				2019/9/13
調整後保管日時		2019年9月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(FU-00102)	5 μSv/h	25 μSv/h	25 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:25	6 m ³		FU-00102	1
	2	1	6m3コンテナ(FU-00103)	5 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:25	6 m ³		FU-00103	1
	3	1	6m3コンテナ(FU-00087)	5 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:25	6 m ³		FU-00087	1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	B南エリア									
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
線量測定年月日	2019/9/13	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	FI-ICWBL-108		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
記入欄	1	不燃物	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.045 mSv/h
	2	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.04 mSv/h
	3	難燃物(その他)	C	04	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.08 mSv/h
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	ZK-02368不燃物 ZK-02369不燃物(その他) ZK-02365難燃物(その他) コンテナ 3基 10tトレーラー1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0195
				2019/9/20
調整後保管日時		2019年9月26日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	FI-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-002368)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/26 8:30	6 m ³		ZK-002368	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-002369)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/26 8:30	6 m ³		ZK-002369	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-002365)	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/26 8:30	6 m ³		ZK-002365	1
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	B南エリア					2019/9/20	2019/9/20	2019/9/20		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	FI-ICWBL-108			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.035 mSv/h
	2	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.035 mSv/h
	3	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.045 mSv/h
	4						m ³				
5						m ³					
メモ	ZK-02372不燃物 ZK-02375不燃物 ZK-02366不燃物 コンテナ 3基 10tトレーラー1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0196
				2019/9/20
調整後保管日時		2019年9月26日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	FI-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02372)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 9:45	6 m ³		ZK-02372	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02375)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 9:45	6 m ³		ZK-02375	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02366)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 9:45	6 m ³		ZK-02366	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	10:30		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	B南エリア						2019/9/20	2019/9/20	2019/9/20	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/18	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-108			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	0.045 mSv/h
	2	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	0.035 mSv/h
	3	不燃物(その他)	B	10	D	B	6 m ³	0.002 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h
	4						m ³				
5						m ³					
メモ	ZK-02367不燃物 ZK-02370不燃物 ZK-02371不燃物 コンテナ 3基 10tトレーラー1台										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				2019/9/20
廃2019	—	09	—	
調整後保管日時		2019年9月26日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	6m3コンテナ(ZK-02367)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 10:50	6 m ³		ZK-02367	1
	2	1	6m3コンテナ(ZK-02370)	5 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 10:50	6 m ³		ZK-02370	1
	3	1	6m3コンテナ(ZK-02371)	5 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアW1	2019/9/26 10:50	6 m ³		ZK-02371	1
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —
					01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他
					01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
								05 —

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012913 - 0007

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 構内配電線設備保全工事(2019)								
	発生場所	CCR付近(GM-28北東)						2019/9/17	2019/9/17	2019/9/17
	作業主管G	配電・電路グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/8/7	測定者		測定器名	F1-ICWBL		管理番号	72		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	伐採木	D	02	D	A	2 m ²	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	無
	2						m ²			
3						m ²				
4						m ²				
5						m ²				
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

受 付 番 号				2019/9/17
廃2019	—	09	—	
調整後保管日時		2019年9月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	伐採木				エリアV(伐採木)	2019/9/25 10:50	1 m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託										
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/9/17	2019/9/17			
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/8/7	測定者		測定器名	ICWBL ICW	管理番号	F1-ICWBL-07FICW-130				
メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	TEPU-170122	フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	3 mSv/h
	2	TEPU-170145	フランジタンク本体	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	10 mSv/h
	3							m ²				
	4							m ²				
	5							m ²				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 B.Gを差し引いたコンテナ表面線量率 TEPU-170170145:0.001mSv/h、TEPU-170145:0.001mSv/h												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0202
				2019/9/17
調整後保管日時		2019年9月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-115
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	TEPU-170122	フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/9/24 8:30	21 m ²		170122- 1
	2	1	TEPU-170145	フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/9/24 9:10	21 m ²		170145 1
										m ²		
										m ²		
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体・	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012914 - 0021

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	3号機 原子炉建屋カバール設備計装品点検(2019)								
	発生場所	3号機カバール設備モニタコンテナ(Ⅱ)						2019/9/18	2019/9/18	
	作業主管G	冷却・監視設備計装グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/9/13	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リ-ICW-294		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
	1	吸引ポンプ(1)	B	03	D	A	0.02 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	吸引ポンプ(2)	B	03	D	A	0.02 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
メ モ	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0203
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	吸引ポンプ(1) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 11:00	0.05 m ²			1
	2	1	吸引ポンプ(2) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 11:00	0.05 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012601 - 0031

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	10:30		承認	審査	作成						
	作業件名	パフファタンク取替関連除却工事													
	発生場所	高台パフファタンクエリア													
	作業主管G	原子炉冷却グループ				監理員	TEL								
	元請会社					担当者	TEL								
	線量測定年月日	2019/9/13	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICW-BL-98					
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	1	コンパネ 木材類	A	03	D	A	1	m	0.54	mSv/h	0.54	mSv/h	β 有	0.83	mSv/h
	2	廃プラ・ビニール	A	02	D	A	2	m	0.54	mSv/h	0.54	mSv/h	β 有	0.76	mSv/h
	3	PE配管	C	04	D	A	5	m	0.54	mSv/h	0.54	mSv/h	β 有	0.65	mSv/h
	4	コンクリートガラ	B	02	D	A	0.1	m	0.54	mSv/h	0.54	mSv/h	β 有	0.85	mSv/h
	5	金属ガラ	B	01	D	A	2	m	0.54	mSv/h	0.54	mSv/h	β 有	0.77	mSv/h
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0204
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンパネ 木材類	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	15 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/24 10:50	0.5 m		FU-00078	1
	5	1	金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/24 10:50	2 m		FU-00105	1
	5	2	金属ガラ	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	20 μ Sv/h	エリアW1	2019/9/24 10:50	1 m		FU-00007	1
									m			
									m			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ BG=7 μ Sv/h, FU-00078: γ =40 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =40 μ Sv/h, FU-00105: γ =10 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =10 μ Sv/h
 モ FU-00007: γ =7 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ =7 μ Sv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013215 - 0102

作業主管理	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	固体廃棄物貯蔵庫他消火配管復旧工事								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫(GL-18中央)					2019/9/17	2019/9/17	2019/9/12	
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定	線量測定年月日	2019/9/4	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-123	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	アスファルトガラ	B	09	D	A	2 m ³	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	無
	2						m ³			
入欄メモ	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0205
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/9/24 10:45	3 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託								
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/9/18	2019/9/18	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者			測定器名	ICWBL ICW		管理番号	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	TEPU-170022 フランジタンク本体			B 11 D A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	3 mSv/h
	2	TEPU-170015 フランジタンク本体			B 11 D A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β有	8 mSv/h
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 B.Gを差し引いたコンテナ表面線量率 TEPU-170022:0.001mSv/h、TEPU-170015:0.001mSv/h									

受 付 番 号				2019/9/18
廃2019	—	09	—	
調整後保管日時		2019年9月25日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	TEPU-170022 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/9/25 10:00	21 m ²		170022	1
	2	1	TEPU-170015 フランジタンク本体	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2019/9/25 9:30	21 m ²		170015	1
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリブレイス関連工事								
	発生場所	1F-1~4号機 タンクエリア					2019/9/17	2019/9/17	2019/9/17	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A	04	D	B	2 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	ゴム類	C	01	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	5	エフレックス	C	04	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0207
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	リ-ICW-286
2		ICWBL	F1-ICWBL-126
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.8 m ²			1
	2	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	1.3 m ²			1
	3	1	難燃シート	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.1 m ²			1
	4	1	ゴム類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.01 m ²			1
	5	1	エフレックス (→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.5 m ²			1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0027

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	H5北・H6北エリアタンクリプレイス関連工事								
	発生場所	1F-1～4号機 タンクエリア					2019/9/17	2019/9/17	2019/9/17	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICS-323C		管理番号	R06009	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	保温材	B	06	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2	塩化ビニール類	B	05	D	B	0.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	3	不燃物その他	B	10	D	B	1.5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	4	木材類	A	03	D	B	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	5						m ²			
	注: α 有、 $\beta + \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0208
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2		ICW	リ-ICW-286
3		ICWBL	F1-ICWBL-126
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/25 9:00	0.5 m ²			1
	2	1	塩化ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.1 m ²			2
	2	2	塩化ビニール類(→H)	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.2 m ²			3
	3	1	不燃物その他②	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/25 9:00	1 m ²			1
	4	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/9/25 9:30	0.01 m ²			2

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0043

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月27日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F HTI,PMB,サイトバンカ地下スラッジ調査								
	発生場所	1号機 Rw/B 中操				2019/9/17	2019/9/17	2019/9/17		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/6/5	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-24	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	金属ガラ	B	01	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.05 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	2	不燃物その他	B	10	D	A	3 m ³	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	β 有 0.2 mSv/h
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 固体廃棄物管理G殿打合せ済 P2保管									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0209
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月27日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/9/27 9:20	4 m ³			1
	2	1	不燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2019/9/27 9:20	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ
上記物品はシート養生にて保管。

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013402 - 0040

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)								
	発生場所	旧 企業棟西側エリア (GT-24南西)						2019/9/18	2019/9/18	
	作業主管G	機械グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/12		測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	紙類、ウエス	A	01	D	B	1 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2	ビニール類	A	02	D	B	0.5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	3	木材	A	03	D	B	0.5 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	4	可燃物その他	A	04	D	B	0.1 m ²	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	5						m ²			

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。
・廃棄物回収を希望致します。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0210
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	リ-ICW-286
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類、ウエス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:10	0.6 m ²			1
	2	1	ビニール類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:10	0.2 m ²			1
	3	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:10	0.02 m ²			1
	4	1	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2019/9/24 9:10	0.1 m ²			1

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア						2019/9/18	2019/9/18	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
G	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
入欄メモ	5						m ³			
	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0211
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/25 8:10	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア				2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18		
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0212
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/25 9:05	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月25日	(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ			① ② ③	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2					m ³				
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	09	—	0213
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管実績 記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/25 9:45	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	伐採木	状態 D:乾燥, W:湿気有				
				履歴 A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 -- 0028

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア						2019/9/18	2019/9/18		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	コンクリートガラ			B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2								m ³			
3								m ³			
4								m ³			
5								m ³			
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	09	—	0214
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月25日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月25日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/25 10:40	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
	②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
			状 態	D:乾燥, W:湿気有	③ 履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年9月27日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア								
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-KWBL-139		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無		
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0215
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/27 8:20	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業主 管 欄	保管希望日時	2019年9月27日		(金)	9:00	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	G4南エリア				2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2019/9/17		測定者		測定器名	ICWBL	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無
		①	②	③				
	1	コンクリートガラ			5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2				m ³			
	3				m ³			
4				m ³				
5				m ³				
メモ	注:10tダンプ車にて持参します。							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0216
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月27日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2019/9/27 9:10	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No. 6013803 - 0028									
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2019年9月27日 (金) 10:00				承認		審査		作成		固体廃棄物管理G記入欄			受付								
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										受 付 番 号											
	発生場所		G4南エリア										2019/9/18		2019/9/18		2019/9/18							
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL				2019/9/18		2019/9/18									
	元請会社						担当者		TEL				2019/9/18		2019/9/18									
線量測定年月日		2019/9/17		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号		F1-KWBL-139		調整後保管日時 2019年9月27日 10:00								
No.		保管物名		※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率		【保管時の指示事項等】								
1		コンクリートガラ		B 02 D B		5 m³		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無												
2						m³																		
3						m³																		
4						m³																		
5						m³																		
注:10tダンプ車にて持参します。																								
保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用 減容可		コンテナNo.		測定No.			
	1	1	コンクリートガラ①		5 μSv/h		5 μSv/h				エリアC		2019/9/27 9:55		4 m³						1			
															m³									
															m³									
															m³									
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
※ カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -												
				06 -		07 -		08 -		09 -		10 -												
			B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類											
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他											
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 -		15 -											
			C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -											
		01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -													
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -												
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -												
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。																						

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月27日	(金)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G4南エリア			2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL				
	元請会社			担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m ³			
	3						m ³			
	4						m ³			
	5						m ³			
	注:10tダンプ車にて持参します。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0218
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月27日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアC	2019/9/27 10:45	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2019年9月30日	(月)	8:00	承認	審査	作成				
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G4南エリア			2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18				
	作業主管G	貯留設備土木グループ	監理員		TEL						
	元請会社		担当者		TEL						
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率				
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無				
	1	金属ガラ(鉄筋のみ)	B	01	D	B	5 m ³	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
	注: 10tダンプ車にて持参します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0219
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月30日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアPI(屋外)	2019/9/30 8:00	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0028								
作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時		2019年9月30日		(月)	9:00		承認		審査		作成						
	作業件名		G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事															
	発生場所		G4南エリア															
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL									
	元請会社						担当者		TEL									
	線量測定年月日		2019/9/17		測定者		測定器名		ICWBL		管理番号		F1-KWBL-139					
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
	1		金属ガラ(鉄筋のみ)			B 01 D B			5 m ³		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無			
	2								m ³									
	3								m ³									
4								m ³										
5								m ³										
注: 10tダンプ車にて持参します。																		

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受付番号					
廃2019	—	09	—	0220	2019/9/18
調整後保管日時			2019年9月30日 9:00		
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容					
測定日		2019年9月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-6		
2					
3					
4					

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/30 8:45	4 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—			
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—			
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類			
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他			
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—			
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)														
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。														
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0028

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2019年9月30日	(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	G4エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事						
	発生場所	G4南エリア			2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18	
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
G 記 入 欄 メモ	線量測定年月日	2019/9/17	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-KWBL-139	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			β・α 汚染の 有無	
	1	金属ガラ(鉄筋のみ)	B	01	D	B	5 m ²	0.001 mSv/h
	2						m ²	
3						m ²		
4						m ²		
5						m ²		
注: 10tダンプ車にて持参します。								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0221
				2019/9/18
調整後保管日時		2019年9月30日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月30日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ(鉄筋のみ) ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/30 9:35	4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0029

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月25日		(水)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F2~4号機 タービン建屋滞留水浮上油回収委託(H31)									
	発生場所	福島第一原子力発電所 3.4号機サービス建屋					2019/9/18	2019/9/18	2019/9/18		
	作業主管G	地下水対策グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/18	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-224		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.5 mSv/h	無	
	2	木材類	A	03	D	B	0.1 m ²	0.03 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	3	可燃物その他	A	04	D	B	1 m ²	0.03 mSv/h	0.5 mSv/h	無	
	4	難燃シート	C	02	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.06 mSv/h	無	
	5	塩化ビニール類(塩ビパイプ)	B	05	D	B	0.5 m ²	0.03 mSv/h	0.15 mSv/h	無	
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0223
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月25日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月25日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2		ICW	リ-ICW-286	
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h		エリアW1	2019/9/25 9:40	0.1 m ²		FU-00078	1
	2	1	木材類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/9/25 10:00	0.01 m ²			2
	3	1	可燃物その他	5 μ Sv/h	150 μ Sv/h		エリアW1	2019/9/25 9:40	0.1 m ²		FU-00078	1
	4	1	難燃シート	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2019/9/25 10:00	0.05 m ²			2
	5	1	塩化ビニール類(塩ビパイプ)	5 μ Sv/h	200 μ Sv/h		エリアW1	2019/9/25 9:40	0.2 m ²		FU-00078	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ
FU-00078表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=95 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=95 μ Sv/h
FU-00080表面: BG=7 μ Sv/h, 表面線量率=15 μ Sv/h, $\beta + \gamma$ 線量率=15 μ Sv/h

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③									
	6	金属ガラ	B	01	D	A	0.5 m ³	0.03	mSv/h	0.7	mSv/h	無		
	7	保温材	B	06	D	A	0.5 m ³	0.03	mSv/h	0.4	mSv/h	無		
	8						m ³							
	9						m ³							
	10						m ³							

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	廃2019	—	09	—	0223

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用 ／ 減容可	コンテナNo.	測定No.
	6	1	金属ガラ	5	μ Sv/h	400	μ Sv/h			エリアW1	2019/9/25 9:40	0.05	m ³		FU-00080	1
	7	1	保温材	5	μ Sv/h	120	μ Sv/h			エリアW1	2019/9/25 9:40	0.05	m ³		FU-00080	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託								
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2019/9/19	2019/9/19	2019/9/19	
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-097	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	10 m ²	2.5 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0224
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月26日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/26 9:00	7 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月27日		(金)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託										
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫										
	作業主管G	固体廃棄物管理グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2019/9/12		測定者			測定器名	ICW				
								管理番号 F1-ICW-097				
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	金属ガラ			B	01	D	A	11 m ³	2.5 μ Sv/h	5 μ Sv/h	無
	2								m ³			
	3								m ³			
	4								m ³			
	5								m ³			

注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	09	—	0225
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月27日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月27日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ①	5 μ Sv/h	5 μ Sv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/27 10:15	7 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0197

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Dビット内スラッジ処理								
	発生場所	プロセ主建屋廻りヤード						2019/9/19	2019/9/19	2019/9/18
	作業主管G	処理設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2019/9/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-127		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.5 mSv/h
	2	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.3 mSv/h
	3	プラ・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.3 mSv/h
	4	可燃物その他	A	04	D	A	0.3 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.1 mSv/h
	5	ゴム類	C	01	D	A	0.1 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有 0.03 mSv/h
	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0226
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:00	0.5 m ²		FU-00106	1
	2	1	紙・ウエス類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:00	0.2 m ²		FU-00078	1
	3	1	プラ・ポリ・ビニール類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:00	0.1 m ²		FU-00078	1
	4	1	可燃物その他	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:00	0.1 m ²		FU-00078	1
	5	1	ゴム類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2019/9/24 10:00	0.1 m ²		FU-00078	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ
FU-00106表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=7 μSv/h, β+γ 線量率=7 μSv/h
FU-00078表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β+γ 線量率=40 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
		B	不 燃 物	06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		C	難燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
		D	伐 採 木	06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
				01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ 線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

固体廃棄物管理G記入欄

受付

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F フランジタンク除染・保管委託								
	発生場所	大型機器点検建屋						2019/9/19	2019/9/19	
	作業主管G	廃棄物計画グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/9/17	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-67
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	不燃物その他			① B 10 ② D ③ A	0.5 m ³	0.002 mSv/h	0.05 mSv/h	β有	10 mSv/h
	2					m ³				
	3					m ³				
	4					m ³				
	5					m ³				
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

受 付 番 号				2019/9/19
廃2019	—	09	—	
調整後保管日時		2019年9月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月26日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	不燃物その他	5 μSv/h	20 μSv/h	4 mSv/h	エリアW1	2019/9/26 8:20	0.5 m ³		FU-00080	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記物品を収納後のコンテナ表面: BG=7 μSv/h, 表面線量率=40 μSv/h, β+γ 線量率=40 μSv/h

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0021

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月24日		(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	2-3号山側道路整備工事									
	発生場所	1~4号機周辺					2019/9/19	2019/9/19	2019/9/18		
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2019/9/11	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-199		
G記入欄	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③							
	1	保温材(ウレタン系、ガラス系)	B	06	D	B	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
	4						m ²				
5						m ²					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0228
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	保温材(ウレタン系、ガラス系) ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2019/9/24 8:20	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0021

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	2-3号山側道路整備工事									
	発生場所	1~4号機周辺									
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL					
	元請会社			担当者		TEL					
	線量測定年月日	2019/9/12	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-199			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β+γ 線量率			
	1	注入材	B	10	D	B	2 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無	
	2						m ³				
	3						m ³				
	4						m ³				
	5						m ³				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0229
調整後保管日時				2019年9月26日
				8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	注入材②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアPI(屋外)	2019/9/26 8:05	1.5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴			
					A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0021

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2019年9月26日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	2-3号山側道路整備工事								
	発生場所	1~4号機周辺					2019/9/19	2019/9/19	2019/9/19	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定年月日	2019/9/13	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-199	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	注入材	B	10	D	B	2 m ³	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ³			
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2019	—	09	—	0230
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月26日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2019年9月26日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-209
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
1	1		注入材②	5	μSv/h	5	μSv/h			エリアP1(屋外)	2019/9/26 8:10	1.5 m ³			1
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	その他
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	その他		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0021

作業主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2019年9月27日		(金)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	2-3号山側道路整備工事								
	発生場所	1~4号機周辺						2019/9/19	2019/9/19	2019/9/18
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2019/9/16	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-199
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	土砂	B	04	D	B	2 m ²	50 μSv/h	50 μSv/h	無
	2						m ²			
	3						m ²			
	4						m ²			
	5						m ²			
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
廃2019	—	09	—	0231
				2019/9/19
調整後保管日時		2019年9月27日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2019年9月27日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-209	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用 減容可	コンテナNo.	測定No.
	1	1	土砂 ⑩	5 μSv/h	15 μSv/h		エリアC	2019/9/27 8:10	2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。